

議会報告

日本共産党交野市会議員団

かたの民報

NO. 1594
2014年4・5月号

交野市役所 共産党控室
私部 1-1-1
☎ 892-0121 (内線 301)

中上 さち子 ☎893-6785
さかの 光雄 ☎893-1083
さらがい ふみ ☎894-2835

平成26年度予算

みなさんと要望してきた事業も実現

子育て支援

●こども医療費助成
通院の医療費助成を
小学3年まで拡充（現
在は就学前まで）
※7月から

●妊婦健診助成
助成を10万円に増額
（現在7万8千円）

●一時預かり事業（ゆう
ゆうセンター内ファ
ミリーサポートセン
ターで実施）



教育

●少人数学級
小学3・4年生の35
人以下学級を市独自
で実施（1・2年生は
国府の制度ですすで
に実施）

●教育センターに臨床
心理士を配置

文化・スポーツ

●中学校の音楽室に工
アコン設置
●学校図書館の整備
●倉治児童会の建物新
設

●図書館の開館延長
●青年の家図書室を午後
7時まで開室（火・
金）

●倉治図書館の祝日開館
●総合体育施設プール
つり天井落下防止工
事

●私部城跡の国史跡指
定をめざす調査報告
書の作成



私部城跡

防災・安全

●浸水対策事業
久御山線と京阪電車
の交差部など
●地域防災計画（平成19
年度策定）の改定

●橋梁補修の設計業務
●妙見川、がらと川の護
岸補修工事等
●公園遊具の更新



公園遊具

その他

●市でパスポートを発
給 ※10月から
●第4中学校体育館屋
上に太陽光パネル設
置
●星田北・星田駅北地区
の区画整理にかかわ
る基本設計等

3月議会 日本共産党

予算の修正案「国保料1人5千円引き下げ、 ゆうゆうバス増便」を提案！

日本共産党は、平成26年度交野市一般会計予算に
対し、「国民健康保険料を1人5千円の減額」と「ゆ
うゆうバスを2台から3台に増便」を行う修正案を
提出しました。しかし、公明党などが反対し、賛成
少数で否決となりました。

日本共産党の提案 （修正案要旨）

◇国保料の引き下げ

交野市国民健康保険
料が高すぎて払えない
未納世帯が、約15%にも
及んでいる。

高すぎる国民健康保
険料を、1人5千円引き
下げるため、加入者2万
人分、1億円を基金より
取り崩す。

◇ゆうゆうバスの増便

ゆうゆうバスが、平成
22年に3台から2台に

減らされ、多くの高齢
者、障がい者の外出の機
会が奪われた。また、乗

車時の積み残しがいま
でも起こっている。
高齢化社会を迎え、ゆ
うゆうバスの重要性は
増している。



基金は、この20年間で
最高額の43億円となっ
ている。今回1億700
万円を取り崩しても、財
政的に問題がない。

日本共産党 ― 一般会計予算に反対

平成26年度一般会計予算は、日本共産党以外の賛
成により可決されました。

日本共産党反対討論の趣旨

市長は、施政方針で
「この間、8万人市民が
イキイキ、ワクワク出会
いとふれあい、感動を実
感できる『かたの』の実
現をめざしてきた」と述
べた。

しかし、経済的に生活
が困難な方や高齢者や
障がい者などに対する、
暮らしの支援策につい
て、充実の方向が示され
ていない。

地方自治体の役割と

して、福祉の充実、社会
的弱者への支援がとり
わけ重要である。

市の財政状況も、財政
健全化目標をはるかに
上回っている。市民の福
祉・暮らし
の向上のた
めの施策の
充実を強く
求める。



日本共産党提出の意見書 本会議に上程ならず

日本共産党は、「集団的自衛権の行使を
容認する解釈改憲を行わないことを求め
る意見書」と「辺野古への新基地建設の
断念と普天間基地の無条件撤去を求める
意見書」を提出しました。

しかし、議会運営委員会にて、いずれ
も公明党・交野クラブの反対により、賛
成少数となり、本会議への上程ができま
せんでした。

日本共産党 議会報告会

●5月11日(日)
午後2時より
●青年の家 学びの館

みなさんの
ご意見・ご要望を
お寄せ下さい。

